

(別紙)

令和4年度障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 _____

【基本情報】

フリガナ	カブシキガイシャフラムハトリハビリネット
法人名	株式会社ふらむはあとリハビリネット
フリガナ	カハマンハツコノエイドウハツカシエンセンター
事業所名	小浜市母と子の家児童発達支援センター
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
3.4人	

（1）ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入後の定量的指標

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)			
①請求業務	2人	416件	4,992件	2分	175時間	87時間
②ケース記録業務	3人	180件	2,160件	10分	360時間	120時間
			0件		0時間	
		596件	7,152件	12分	535時間	207時間

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①請求業務 … 実績に即した数字
②ケース記録業務 … 放課後等デイサービスの定員（10名）×サービス提供日数（20日）×出席率（0.9）＝180件

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①請求業務 … 実績入力（4分／1件×127件）＋上限額管理一覧表（10分）＋上限額管理結果票（5分／1件×18件）＋口座引落しデータ作成（120分）＋給付受領通知作成（60分）＋請求書作成（2分／1件×37件）＋領収書作成（30分）÷発生件数（416件）
②ケース記録業務 … 1日9人の記録を3人の職員で記録（90分）×サービス提供日数（20日）÷発生件数（180件）

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)			
①請求業務	2人	391件	4,692件	2分	117時間	59時間
②ケース記録業務	3人	180件	2,160件	3分	108時間	36時間
			0件		0時間	
		571件	6,852件	5分	225時間	95時間

以下の※3及び※4については、ICT機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①請求業務 … 実績に即した数字
②ケース記録業務 … 放課後等デイサービスの定員（10名）×サービス提供日数（20日）×出席率（0.9）＝180件

<※4>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①請求業務 … 実績入力（4分／1件×121件）＋上限額管理一覧表（3分）＋上限額管理結果票（3分／1件×19件）＋口座引落しデータ作成（10分）＋給付受領通知作成（10分）＋請求書作成（5分）＋領収書作成（5分）÷発生件数（391件）
②ケース記録業務 … 1日9人の記録を3人の職員で記録（27分）×サービス提供日数（20日）÷発生件数（180件）

年間業務時間数削減率（％）

57.9%

※作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
①ケース記録	60 ページ	720 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	60 ページ	720 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
①ケース記録	0 ページ	0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

年間作成文書量削減率 (%)

100.0%

(2) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

業務時間数削減 … ①請求業務 … 情報が連動することにより、これまで同じ情報を数回入力する手間が省略できた。
 … ②ケース記録業務 … 自由記述から、選択記述様式に変更した。複数児童を同時に入力が可能になった。
 作成文書量削減 … 紙への記録から、障がい福祉事業支援システムへの入力に変更した。

(3) ICT機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

①請求業務 … 入力ミスがエラー表示されるため、請求ミスを防げるようになった。支給決定期間が事前に通知されるため、事前の対応が可能で、実績入力の時間削減に繋がる。
 システムの操作に慣れるためにスキルが必要で、複数人で請求業務が出来るようにマニュアル作りが今後の課題である。
 ②ケース記録業務 … 入力に煩雑な面があり、運用ルール慣れ実行することに時間を要することが課題である。

(4) 費用面での効果 (ICT機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ICT機器等の導入による費用の縮減	有
-------------------	---

ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額 (円)	30,365円
職員の賃上げ等への充当	有
その他職場環境の改善への充当 (※1)	無
サービスの質の向上に係る取組への充当 (※2)	無

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。